

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	岐阜市	学校名	岐阜市立長森南中学校			
校長名	丹羽美彦	対象学年	1年	人数	136人	
活動名	身近な水を通して	時間数	32	時間	継続年数	11年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよりふるさとをつくる活動 ⑥ その他（ ）		[長良川・境川] [] [] [] [] []			

複数年継続するための工夫改善
 環境学習に詳しい外部講師の協力を得ることで、生徒の実態にあった活動をつくり出すことができるようになってきた。特に、外部講師を通して様々な団体とのネットワークを構築することで、学校だけではできない体験的な学習や成果発表の場が位置付き、活動が充実してきた。

1 ねらい

身近な水に関心を持ち、校区の境川の水質や生き物を調べたり、上流や下流の水質と比べたり、海の生き物とのつながりについて学んだりする活動を通して、環境と自分たちの生活のつながりを意識し、生き方を考えることができる。

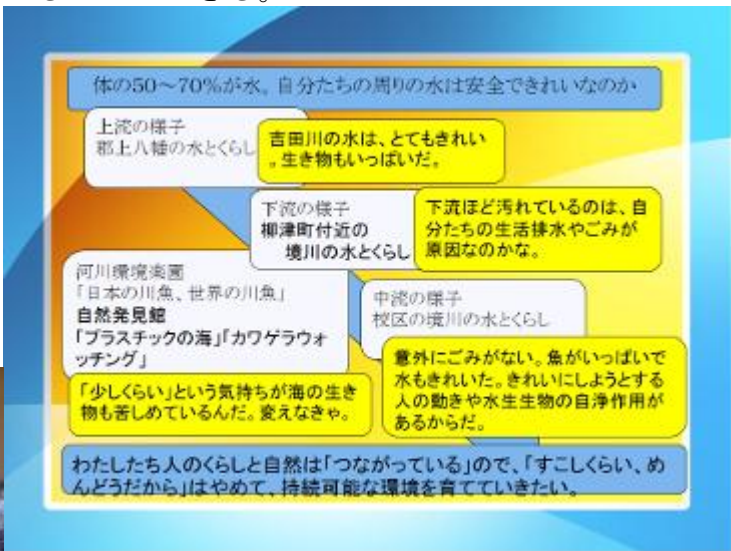
2 活動の概要



境川での調査↑



自然発見館「プラスチックの海」の学習→



3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

現地調査などの体験活動を取り入れ、地域の人や自然とふれあうことで、地域の一員として、ふるさとの自然に愛着をもって生活する力が育ちつつある。

地域のNPOの小林由紀子先生をはじめ、市役所や県の土木課など多方面の支援を受けている。調査活動の後にゴミ拾いをするなど、地域での活動の様子を見ていただいている。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

『便利なプラスチックですが、「少しぐらいいいか」とごみにすると、川や海の生物にとってとても危険なものだと分かりました。キャップを飲んで死んでいた鳥の写真を見て悲しい気持ちになりました。自分では少しくらいと考えず、ごみはごみ箱に捨てたいし、今日学んだことを家の人や地域の人に伝え、命を大切にしていきたい。』と考えた。